

環境委員会

委員会構成

委員長 ; 前田 一郎 (丸紅)
副委員長 ; 内田 肇 (三井住友銀行)
副委員長 ; 本岡 朗 (丸紅)

委員会の目的

日本の京都議定書の目標達成とブラジルの持続可能発展に寄与することを企図しつつ、「地球温暖化防止」という人類共通の課題に対して、商工会議所の機能とネットワークをベースに最大限貢献すること。



前田一郎委員長

08 年度活動報告

3. 活動実績 ;

①会議所メンバー企業に対する啓発を目的とした勉強会・セミナー開催 ;

9 月 3 日 (木) 16:00- 18:00 にて、商工会議所大会議室にて地球温暖化

ガス削減の現状と今後の見通し」をテーマに実施。

②CDM プロジェクト等プロジェクトサイトの現地視察 ;

RS 州で小規模水力発電所による排出権創出し日本の電力会社へ販売した

CERAN 社と日本プロサッカーチームとして初めてカーボンオフセットを

図った清水エスパルスの協業で、清水エスパルスのジュニアチーム

(U-14) が、ポルトアレグレ市を訪問しブラジルプロチーム「International」

と親善試合をするとともに、ジュニアチームメンバーに地球温暖化防止

に関するセミナーを実施。

③会議所ホームページへの情報提供 ;

08 年度は、計 10 回のホームページに環境関連情報を提供した。

委員会の活動内容


(1) 会議所メンバー企業に対する啓発を目的とした勉強会の開催を年 3 回程度。

(2) CDM プロジェクト、エタノール、バイオディーゼルなどのプロジェクトサイトを訪問する現地視察。

(3) 会議所の HP に対して、適宜、地球温暖化防止に関する情報の提供をする (日本側/ブラジル側共に)。
必要に応じて環境中心のページも作成してもらう。

例としては











☐ 京都議定書と CDM に関する勉強会

- バイオディーゼルプロジェクト現地視察
- ☐ CDM プロジェクト現地視察
-  スキーム図

08 年度活動中間報告

- (1) 会議所メンバー企業に対する啓発を目的とした勉強会；
- ・ 9 月 3 日（木）16:00-18:00 にて、商工会議所大会議室にて環境に関するセミナーを開催決定。
- (2) CDM プロジェクト等プロジェクトサイトの現地視察；
- ・ RS 州で小規模水力発電所による排出権創出し日本電力会社へ販売した CEREAN 社と日本プロサッカーチームとして初めてカーボンオフセットを図った清水エスパルスの協業で、清水エスパルスのジュニアチーム（U-14）が、ポルトアレグレ市を訪問しブラジルプロチーム「International」と親善試合をするとともに、ジュニアチームメンバーに地球温暖化防止に関するセミナーを 8 月 20 日に行う。
- (3) 会議所ホームページへの情報提供；
- ・ 08 年度に入り、既に 6 回ホームページに環境関連情報を提供しており、今後も適宜情報掲載を図る所存。

カーボンクレジット関連情報コーナー

-  三井住友銀行は環境ビジネス貢献で南大河州議会/カシアス市議会から表彰（2008 年 10 月 21 日）
-  排出権取引などでブラジルの発展に寄与で奥正之三井住友銀行頭取に“100 周年記念叙勲”（8 年 6 月 18 日）
-  BSMB ニュースレター「気候変動と排出権取引」8 年 6 月号
-  BSMB ニュースレター「気候変動と排出権取引」8 年 5 月号
-  BSMB ニュースレター「気候変動と排出権取引」8 年 4 月号
-  BSMB 銀行 HP 立上（邦字新聞記事）
-  コロンビアでカーボンクレジット取引（日刊工記事）
-  BSMB 銀行サイト
-  BSMB ニュースレター「気候変動と排出権取引」8 年 3 月号
-  100 万トンのカーボンクレジット取引（ガゼッタ紙に掲載）

バックナンバー

2007 年 環境委員会